

令和7年度

収支決算書

令和7年4月1日

～

令和8年3月31日

一般財団法人**省エネルギーセンター**

概 況

最近のエネルギーを巡る国際情勢をみますと、長引くウクライナ侵攻に加え、イラン情勢の緊迫化に伴うホルムズ海峡の閉鎖等により地政学的なリスクが改めて浮き彫りになっており、エネルギーの安定確保に向けた「安全保障」の観点がこれまで以上に重要になっています。

一方、このような中においても、中長期的な課題である気候変動問題については、異常気象の頻発化等により地球温暖化への懸念が更に高まっていることから、米国による脱炭素政策に係る方針変更等の影響はあるものの、「2050年カーボンニュートラル実現」に向け、引き続き温室効果ガスの削減対応を加速化していかねばなりません。

またその際には、AIに象徴されるDXの進展に伴いデータセンター等の電力需要が大幅増となる可能性を念頭に置く必要があります。

かかる状況に対し、我が国としては、当面、アジア地域全体におけるエネルギーの安定確保等も念頭に置きながら原油等供給源の多角化等に注力するとともに、長期的には第7次エネルギー基本計画等で示された方針のもと、化石エネルギーへの依存からの脱却を図るべくグリーントランスフォーメーション(GX)の実現に向け、実効性のある対策を大胆に講じていくことが求められます。

すなわち、エネルギーの供給サイドにおいてはエネルギー安全保障や脱炭素に資する再エネや原子力の最大限確保を図ると同時に、需要サイドにおいては省エネを「第一の燃料」と捉え、再エネの活用等と併せ、強力かつ着実に推進していくことが不可欠です。

こうした中、「省エネをはじめとするエネルギー利用の最適化」を目指す当センターといたしましても、令和7年度において以下のような事業活動を推進してまいりましたが、今後ともエネルギー安全保障の強化とカーボンニュートラルの実現等に貢献すべく国内外における取組を拡充、強化してまいります。

I. エネルギー利用の最適化等に向けた政策への協力

中小企業等においてエネルギー利用の最適化を推進するため、専門家による診断サービス等を提供するとともに、地域において関係機関等との連携を図りました。併せて、診断を担う人材の発掘や育成のための情報提供・研修等の支援を行いました。

さらに、省エネ法等の円滑な執行や計画的なCO₂削減対応への支援等を実施しました。

II. 省エネ関連情報の発信

「徹底した省エネ」やカーボンニュートラルに向けた産業・業務・家庭等あらゆる分野の活動を支援するため、「省エネ大賞」、「ENEX2026」、Web サイト等の媒体を通じて、先進的な製品、技術・ノウハウ、ビジネスモデル、活動事例、関連政策等について有益な情報を発信しました。

III. カーボンニュートラルに向けた支援サービスの提供

カーボンニュートラルを念頭に行う企業等のエネルギー管理活動を支援するため、体制整備や計画策定への助言、ソリューション及び実施指導等を行いました。また、当該活動における中核人材等を育成するため、オンライン等も活用しつつ教育事業や資格認定を実施しました。

IV. 省エネ関連国際協力・ビジネス交流の推進

エネルギー需要や温室効果ガスが増大している新興国等において省エネやカーボンニュートラルに向けた活動が促進されるよう、人材育成を通じて我が国の優れた省エネ・再エネ技術や関連政策・制度の普及に努めました。

また、官民一体となって設立された「世界省エネルギー等ビジネス推進協議会」と連携して、省エネ関連の国際ビジネス交流を支援しました。

V. 国家試験等の円滑な実施

省エネ法に基づくエネルギー管理者、エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員に係る資格に関し、オンライン等も活用しつつ、所定の試験・研修・講習を円滑かつ厳正に実施しました。

その際には、国からの補助・受託事業については政策意図に沿った実施に努めるとともに、当センター独自事業については新たなニーズ等も踏まえてその充実を図ることを通じて、事業効果の最大化と財務基盤の強化を両立するよう注力しました。

なお、公益法人から移行した一般財団法人として、令和7年度も公益目的支出計画の着実な実行を図りました。

収 支 決 算 書

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預貯金	162,432,458	154,572,614	7,859,844
未収金	688,479,360	746,779,229	△ 58,299,869
未収利息	1,600,114	1,479,801	120,313
売掛金	4,815,085	5,514,771	△ 699,686
商品	2,554,642	1,516,165	1,038,477
製品	4,790,178	4,783,307	6,871
仕掛品	55,055,997	33,243,468	21,812,529
貯蔵品	204,428	191,545	12,883
前払金	20,301,361	18,220,922	2,080,439
流動資産 合計	940,233,623	966,301,822	△ 26,068,199
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	448,065,901	249,023,892	199,042,009
定期預金	26,934,099	225,976,108	△ 199,042,009
基本財産 合計	475,000,000	475,000,000	0
(2) 特定資産			
運営強化等積立資産	1,847,136,532	1,844,323,286	2,813,246
退職給付積立資産	141,384,000	129,170,100	12,213,900
特定資産 合計	1,988,520,532	1,973,493,386	15,027,146
(3) その他の固定資産			
造 作	3,146,865	4,102,553	△ 955,688
什器備品	2,926,324	3,743,563	△ 817,239
機械装置	913,634	1,218,175	△ 304,541
ソフトウェア	9	9	0
電話加入権	2,841,592	2,841,592	0
保証金	48,131,496	49,435,766	△ 1,304,270
長期前払費用	134,070	467,358	△ 333,288
その他の固定資産合計	58,093,990	61,809,016	△ 3,715,026
固定資産合計	2,521,614,522	2,510,302,402	11,312,120
資産合計	3,461,848,145	3,476,604,224	△ 14,756,079
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	500,000,000	500,000,000	0
未払金	85,747,263	151,119,165	△ 65,371,902
会費前受金	54,999,010	58,049,010	△ 3,050,000
前受金	99,978,870	62,959,853	37,019,017
預り金	8,866,303	7,352,931	1,513,372
賞与引当金	9,218,131	9,111,843	106,288
流動負債 合計	758,809,577	788,592,802	△ 29,783,225
2. 固定負債			
退職給付引当金	141,384,000	129,170,100	12,213,900
固定負債 合計	141,384,000	129,170,100	12,213,900
負債合計	900,193,577	917,762,902	△ 17,569,325
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間補助金	375,000,000	375,000,000	0
民間寄付金	325,000,000	325,000,000	0
指定正味財産 合計	700,000,000	700,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(475,000,000)	(475,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(225,000,000)	(225,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	1,861,654,568	1,858,841,322	2,813,246
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,622,136,532)	(1,619,323,286)	(2,813,246)
正味財産合計	2,561,654,568	2,558,841,322	2,813,246
負債及び正味財産合計	3,461,848,145	3,476,604,224	△ 14,756,079

注)実施事業資産は、以下のとおりである。

未収金 579,965,526円

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,489,614	2,350,949	2,138,665
② 特定資産運用益	5,648,787	5,165,569	483,218
③ 賛助会費	135,645,000	139,053,000	△ 3,408,000
④ 事業収益	586,556,132	610,104,919	△ 23,548,787
試験・講習事業収益	394,925,250	416,554,400	△ 21,629,150
出版事業収益	57,796,351	64,098,520	△ 6,302,169
通信教育・講座等事業収益	37,582,612	45,131,878	△ 7,549,266
その他事業収益	96,251,919	84,320,121	11,931,798
⑤ 受取補助金等収益	1,033,452,081	1,260,634,202	△ 227,182,121
国庫等補助金収益	442,763,004	415,111,464	27,651,540
受託収益	590,689,077	845,522,738	△ 254,833,661
⑥ 雑収益	1,591,526	486,966	1,104,560
受取利息	1,563,403	464,146	1,099,257
雑収益	28,123	22,820	5,303
経常収益計	1,767,383,140	2,017,795,605	△ 250,412,465
(2) 経常費用			
① 事業費	1,638,949,626	1,862,511,370	△ 223,561,744
給与手当等	518,551,320	524,562,375	△ 6,011,055
臨時雇用員費	377,176,223	425,422,616	△ 48,246,393
旅費交通費	80,538,083	107,665,457	△ 27,127,374
機器賃借料	22,639,885	10,968,947	11,670,938
諸謝金	104,070,451	117,470,156	△ 13,399,705
会場費	45,650,256	50,832,118	△ 5,181,862
印刷製本費	50,553,051	56,123,442	△ 5,570,391
外注委託費	121,726,525	182,698,969	△ 60,972,444
その他事業費	318,043,832	386,767,290	△ 68,723,458
② 管理費	125,620,268	99,850,163	25,770,105
給与手当等	96,856,535	84,171,295	12,685,240
臨時雇用員費	13,363,220	13,208,071	155,149
減価償却費	2,779,766	2,766,948	12,818
事務所等賃借料	104,248,420	127,200,182	△ 22,951,762
租税公課	13,995,711	66,010,871	△ 52,015,160
短期借入金利息	100,685	75,342	25,343
その他事務費	46,842,213	50,201,125	△ 3,358,912
事業費への事務費振替額	△ 152,566,282	△ 243,783,671	91,217,389
経常費用計	1,764,569,894	1,962,361,533	△ 197,791,639
当期経常増減額	2,813,246	55,434,072	△ 52,620,826
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,813,246	55,434,072	△ 52,620,826
一般正味財産期首残高	1,858,841,322	1,803,407,250	55,434,072
一般正味財産期末残高	1,861,654,568	1,858,841,322	2,813,246
II 指定正味財産増減の部			
1. 基本財産運用益			
投資有価証券利息	4,489,614	2,350,949	2,138,665
2. 特定資産運用益			
投資有価証券利息	925,166	872,168	52,998
3. 一般正味財産への振替額	△ 5,414,780	△ 3,223,117	△ 2,191,663
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	700,000,000	700,000,000	0
指定正味財産期末残高	700,000,000	700,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,561,654,568	2,558,841,322	2,813,246

科目	実施事業等会計							その他会計							法人会計	合計	
	継続-1	継続-2	継続-3	継続-4	継続-5	共通	小計	その他-1	その他-2	その他-3	その他-4	その他-5	その他-6	小計			
	産業における省エネ政策推進事業	家庭、地域等における省エネ政策推進事業	国際協力・活動政策の推進事業	省エネ大賞表彰事業	エネルギー管理士試験・講習関連調査事業			産業における省エネ政策推進事業	家庭、地域等における省エネ政策推進事業	省エネ関連人材の育成推進事業	エネルギー管理士試験・講習事業	国際協力・活動の推進事業	その他事業				
I 一般正味財産増減の部																	
1. 経常増減の部																	
(1) 経常収益																	
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,489,614	4,489,614
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,648,787	5,648,787
③ 賛助会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135,645,000	135,645,000
④ 事業収益	6,374,537	0	0	28,679,421	0	0	35,053,958	12,612,310	3,028,668	39,035,384	394,925,250	474,835	101,425,727	551,502,174	0	586,556,132	586,556,132
試験・講習事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	394,925,250	0	0	394,925,250	0	394,925,250	394,925,250
出版事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57,796,351	57,796,351	0	57,796,351	57,796,351
通信教育・講座等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37,582,612	0	0	0	37,582,612	0	37,582,612	37,582,612
その他事業収益	6,374,537	0	0	28,679,421	0	0	35,053,958	12,612,310	3,028,668	1,452,772	0	474,835	43,629,376	61,197,961	0	96,251,919	96,251,919
⑤ 受取補助金等収益	558,368,067	101,698,067	269,533,019	0	0	0	929,599,153	44,825,130	25,508,029	9,189,943	0	22,929,826	1,400,000	103,852,928	0	1,033,452,081	1,033,452,081
国庫等補助金収益	442,763,004	0	0	0	0	0	442,763,004	0	0	0	0	0	0	0	0	442,763,004	442,763,004
受託収益	115,605,063	101,698,067	269,533,019	0	0	0	486,836,149	44,825,130	25,508,029	9,189,943	0	22,929,826	1,400,000	103,852,928	0	590,689,077	590,689,077
⑥ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,591,526	1,591,526
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,563,403	1,563,403
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,123	28,123
経常収益計	564,742,604	101,698,067	269,533,019	28,679,421	0	0	964,653,111	57,437,440	28,536,697	48,225,327	394,925,250	23,404,661	102,825,727	655,355,102	147,374,927	1,767,383,140	1,767,383,140
(2) 経常費用																	
① 事業費	605,304,043	113,467,020	299,559,187	34,209,191	289,189	0	1,052,828,630	43,931,768	12,922,348	58,634,814	327,613,524	15,974,246	127,044,296	586,120,996	0	1,638,949,626	1,638,949,626
給与手当等	179,544,380	70,916,489	86,281,209	15,113,557	270,265	0	352,125,900	21,029,725	7,155,680	27,184,657	82,301,147	6,059,824	22,694,387	166,425,420	0	518,551,320	518,551,320
臨時雇用員費	172,299,012	20,928,055	85,276,587	1,836,586	0	0	280,340,240	4,946,209	2,610,658	10,883,438	58,095,018	1,744,822	18,555,838	96,835,983	0	377,176,223	377,176,223
旅費交通費	18,355,923	655,464	44,276,406	1,848,661	0	0	65,136,454	3,618,975	247,357	1,104,340	1,995,209	6,309,104	2,126,644	15,401,629	0	80,538,083	80,538,083
機器賃貸料	4,749,990	549,040	396,960	111,800	0	0	5,807,790	148,100	152,000	421,957	16,090,782	0	19,256	16,832,095	0	22,639,885	22,639,885
諸謝金	73,946,204	548,020	719,750	2,564,439	0	0	77,778,413	2,292,256	0	1,359,295	17,504,886	0	5,135,601	26,292,038	0	104,070,451	104,070,451
会場費	3,624,057	858,547	14,005,894	1,183,766	0	0	19,672,264	220,000	0	968,466	23,646,752	549,787	592,987	25,977,992	0	45,650,256	45,650,256
印刷製本費	7,168,093	52,650	2,677,411	1,583,700	0	0	11,481,854	3,800	317,790	739,640	27,411,146	30,095	10,568,726	39,071,197	0	50,553,051	50,553,051
外注委託費	22,869,091	859,131	23,153,861	1,031,290	0	0	47,913,373	4,222,760	124,375	5,474,911	16,338,543	0	47,652,563	73,813,152	0	121,726,525	121,726,525
その他事業費	122,747,293	18,099,624	42,771,109	8,935,392	18,924	0	192,572,342	7,449,943	2,314,488	10,498,110	84,230,041	1,280,614	19,698,294	125,471,490	0	318,043,832	318,043,832
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125,620,268	125,620,268	125,620,268
給与手当等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96,856,535	96,856,535	96,856,535
臨時雇用員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,363,220	13,363,220	13,363,220
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,779,766	2,779,766	2,779,766
事務所等賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104,248,420	104,248,420	104,248,420
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,995,711	13,995,711	13,995,711
短期借入金利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,685	100,685	100,685
その他事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,842,213	46,842,213	46,842,213
事業費への事務費振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 152,566,282	△ 152,566,282	△ 152,566,282
経常費用計	605,304,043	113,467,020	299,559,187	34,209,191	289,189	0	1,052,828,630	43,931,768	12,922,348	58,634,814	327,613,524	15,974,246	127,044,296	586,120,996	125,620,268	1,764,569,894	1,764,569,894
当期経常増減額	△ 40,561,439	△ 11,768,953	△ 30,026,168	△ 5,529,770	△ 289,189	0	△ 88,175,519	13,505,672	15,614,349	△ 10,409,487	67,311,726	7,430,415	△ 24,218,569	69,234,106	21,754,659	2,813,246	2,813,246
2. 経常外増減の部																	
(1) 経常外収益																	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用																	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 40,561,439	△ 11,768,953	△ 30,026,168	△ 5,529,770	△ 289,189	0	△ 88,175,519	13,505,672	15,614,349	△ 10,409,487	67,311,726	7,430,415	△ 24,218,569	69,234,106	21,754,659	2,813,246	2,813,246
一般正味財産期首残高	△ 679,459,297	△ 165,637,445	△ 275,749,323	△ 42,798,330	△ 26,033,110	1,519,032,148	329,354,643	396,440,499	119,306,955	△ 394,722	723,713,987	130,784,573	△ 430,115,737	939,735,555	589,751,124	1,858,841,322	1,858,841,322
一般正味財産期末残高	△ 720,020,736	△ 177,406,398	△ 305,775,491	△ 48,328,100	△ 26,322,299	1,519,032,148	241,179,124	409,946,171	134,921,304	△ 10,804,209	791,025,713	138,214,988	△ 454,334,306	1,008,969,661	611,505,783	1,861,654,568	1,861,654,568
II 指定正味財産増減の部																	
1. 基本財産運用益																	
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,489,614	4,489,614	4,489,614
2. 特定資産運用益																	
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	925,166	925,166	925,166
3. 一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 5,414,780	△ 5,414,780	△ 5,414,780
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000
III 正味財産期末残高	△ 720,020,736	△ 177,406,398	△ 305,775,491	△ 48,328,100	△ 26,322,299	2,219,032,148	941,179,124	409,946,171	134,921,304	△ 10,804,209	791,025,713	138,214,988	△ 454,334,306	1,008,969,661	611,505,783	2,561,654,568	2,561,654,568

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	249,023,892	199,042,009	0	448,065,901
	定期預金	225,976,108	0	199,042,009	26,934,099
	基本財産計	475,000,000	199,042,009	199,042,009	475,000,000
特定資産	運営強化等積立資産	1,844,323,286	2,813,246	0	1,847,136,532
	退職給付引当資産	129,170,100	12,213,900	0	141,384,000
	特定資産計	1,973,493,386	15,027,146	0	1,988,520,532

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	9,111,843	9,218,131	9,111,843	0	9,218,131
退職給付引当金	129,170,100	12,213,900	0	0	141,384,000

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

当該事業年度は、「公益法人会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」を採用している。

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 個別法による償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
①製品、仕掛品 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
②商品、貯蔵品 最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①有形固定資産（リース資産を除く）
イ. 造作 定額法
ロ. 造作以外の有形固定資産 定率法
②無形固定資産（リース資産を除く）
ソフトウェア（自社利用分） 定額法（5年間）
③リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却の方法と同一の方法
- (4) 引当金の計上基準
①貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。
②賞与引当金 職員への賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に属する額を計上している。
③退職給付引当金 役員及び職員の退職給付に備えるため、当期末における期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税抜方式を採用している。

2. 重要な会計方針の変更

消費税等の会計処理については、当期より税込方式から税抜方式に変更している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	249,023,892	199,042,009	0	448,065,901
定期預金	225,976,108	0	199,042,009	26,934,099
小 計	475,000,000	199,042,009	199,042,009	475,000,000
特定資産				
運営強化等積立資産	1,844,323,286	2,813,246	0	1,847,136,532
退職給付積立資産	129,170,100	12,213,900	0	141,384,000
小 計	1,973,493,386	15,027,146	0	1,988,520,532
合 計	2,448,493,386	214,069,155	199,042,009	2,463,520,532

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科	目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産					
	投資有価証券	448,065,901	(448,065,901)	(0)	(0)
	定期預金	26,934,099	(26,934,099)	(0)	(0)
	小計	475,000,000	(475,000,000)	(0)	(0)
特定資産					
	運営強化等積立資産	1,847,136,532	(225,000,000)	(1,622,136,532)	(0)
	退職給付積立資産	141,384,000	(0)	(0)	(141,384,000)
	小計	1,988,520,532	(225,000,000)	(1,622,136,532)	(141,384,000)
	合計	2,463,520,532	(700,000,000)	(1,622,136,532)	(141,384,000)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科	目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	造作	28,932,573	25,785,708	3,146,865
	什器備品	22,989,185	20,062,861	2,926,324
	機械装置	16,349,432	15,435,798	913,634
	合計	68,271,190	61,284,367	6,986,823

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
第8回利付国債 (H27. 12. 22取得)	49,813,952	30,070,000	△ 19,743,952
第267回日本高速道路保有・債務返済機構債券 (H28. 1. 26取得)	99,900,700	86,690,000	△ 13,210,700
第57回地方公共団体金融機構債券 (H29. 3. 14取得)	99,382,747	80,922,200	△ 18,460,547
第378回利付国債 (R7. 6. 24取得)	198,968,502	186,200,000	△ 12,768,502
特定資産			
第519回中部電力社債 (H29. 2. 24取得)	99,769,242	80,220,000	△ 19,549,242
第159回利付国債 (H29. 3. 13取得)	9,943,057	8,254,050	△ 1,689,007
第8回利付国債 (H27. 12. 21取得)	59,887,930	36,088,320	△ 23,799,610
第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券 (H28. 3. 16取得)	208,426,648	177,800,000	△ 30,626,648
第517回東北電力社債 (グリーンボンド) (R2. 2. 27取得)	100,000,000	93,500,000	△ 6,500,000
第515回日本高速道路保有・債務返済機構債券 (R7. 8. 7取得)	99,870,365	99,870,000	△ 365
合 計	1,025,963,143	879,614,570	△ 146,348,573

※ グリーンボンド：資金使途を環境改善効果のある事業に限定した債券

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助事業						
・令和7年度中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費補助金	経済産業省	0	442,763,004	442,763,004	0	—
小計		0	442,763,004	442,763,004	0	
受託事業						
・令和7年度省エネルギー促進法律・制度効率的運用業務事業	経済産業省	0	82,905,951	82,905,951	0	—
・令和7年度省エネルギー促進広報事業	経済産業省	0	32,699,112	32,699,112	0	—
・令和7年度省エネルギー促進に向けた広報事業	四国経済産業局	0	1,138,975	1,138,975	0	—
・令和7年度新興国等脱炭素化・エネルギー転換事業	経済産業省	0	269,533,019	269,533,019	0	—
・令和7年度カーボンニュートラルに向けた熱分野の脱炭素化モデル構築等に係る検討委託業務	環境省	0	18,400,000	18,400,000	0	—
・令和7年度脱炭素化技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業(SHIFT事業)に係る制度運営支援委託業務	環境省	0	77,050,000	77,050,000	0	—
・令和7年度環境技術実証事業 気候変動対策技術領域実証機関連業務	環境省	0	5,109,092	5,109,092	0	—
・その他受託事業	地方公共団体ほか	0	103,852,928	103,852,928	0	—
小計		0	590,689,077	590,689,077	0	
合 計		0	1,033,452,081	1,033,452,081	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	4,489,614
特定資産受取利息の振替額	925,166
合 計	5,414,780

9. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	141,384,000
退職給付引当金	141,384,000

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	12,213,900
退職給付費用	12,213,900

(注) 退職給付費用12,213,900円は、事業費の「給与手当等」に5,144,800円、管理費の「給与手当等」に7,069,100円計上している。

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

10. 正味財産増減計算書に関する注記

管理費の「事業費への事務費振替額」152,566,282円は、間接部門で発生した事務費のうち、事業費に按分する金額であり、当該按分額は事業費の「その他事業費」に計上されている。

なお、その内訳は次のとおりである。

実施事業等会計	116,790,275円
その他会計	35,776,007円
合計	152,566,282円

11. 資産除去債務に関する注記

当法人は、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識している。なお、資産除去債務の負債計上に代えて、不動産賃貸借契約に関する敷金及び保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によっている。

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	摘 要	金 額	
I 流動資産			940,233,623
現金及び預貯金		162,432,458	
	普通預金	930,178,709	
	みずほ銀行	6,773,778	
	三井住友銀行	920,416,554	
	三菱UFJ銀行	45,005	
	各支部	2,943,372	
	定期預金	539,656,800	
	みずほ銀行	50,083,800	
	三井住友銀行	489,573,000	
	当座預金	129,538,343	
	みずほ銀行	129,538,343	
	郵便貯金	615,995	
	固定資産（基本財産、特定資産）への振替額	△ 1,437,557,389	
	基本財産	△ 26,934,099	
	運営強化等積立資産	△ 1,269,239,290	
	退職給付積立資産	△ 141,384,000	
未 収 金		688,479,360	
	経済産業省補助収益	162,601,638	
	経済産業省受託収益	309,651,888	
	環境省受託収益	104,995,000	
	その他受託収益	64,507,413	
	講習・講座受講料	882,204	
	その他未収金	45,841,217	
未 売 商 製 仕 貯 前	未 収 利 息 金 品 品 品	1,600,114	
	図書販売代金	4,815,085	
	P R 用品	2,554,642	
	図書	4,790,178	
		55,055,997	
	雑誌製作費	3,088,750	
	次年度プロジェクト対応事業費	51,967,247	
		204,428	
	郵便切手・はがき等	128,111	
	収入印紙	16,400	
	その他	59,917	
	試験会場費他	20,301,361	
II 固定資産			2,521,614,522
(1)基本財産		475,000,000	
投資有価証券		448,065,901	
	公債等		
	日本高速道路債	99,900,700	
	国債	248,782,454	
	地方公共団体金融機構債	99,382,747	
定期預金		26,934,099	
	三井住友銀行	26,934,099	
(2)特定資産		1,988,520,532	
運営強化等積立資産	1,847,136,532		
退職給付積立資産	141,384,000		
(3)その他の固定資産		58,093,990	
造 作	事務所間仕切他	3,146,865	
什 器 備 品	パソコン他	2,926,324	
機 械 装 置	L A N 用通信設備他	913,634	
ソ フ ト ウ ェ ア	システムソフト類	9	
電 話 加 入 権		2,841,592	
保 証 金	事務所借室保証金他	48,131,496	
長 期 前 払 費 用		134,070	
資 産 合 計			3,461,848,145

(単位：円)

負債の部			
科目	摘要	金額	額
I 流動負債			758,809,577
短期借入金		500,000,000	
未払金	借入先：三井住友銀行	500,000,000	
		85,747,263	
	補助事業	13,556,383	
	受託事業	7,556,687	
	試験・講習事業	18,819,261	
	出版事業	5,422,249	
	教育事業	628,048	
	普及事業	0	
	その他事業費	1,739,371	
	管理費	9,599,999	
	旅費・謝金	28,425,265	
会費前受金	令和8年度賛助会費		54,999,010
前預り金	雑誌年間購読料、講座受講料等		99,978,870
			8,866,303
	源泉所得税	5,680,375	
	社会保険料	1,093,688	
	住民税	1,995,160	
	その他	97,080	
賞与引当金			9,218,131
II 固定負債			141,384,000
退職給付引当金		141,384,000	
負債合計			900,193,577
差引：正味財産			2,561,654,568

注)財産目録は、任意に作成したことから、公益会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」の様式に準拠していない。

独立監査人の監査報告書

令和8年5月22日

一般財団法人省エネルギーセンター
会長 海輪 誠 殿

大串公認会計士事務所

東京都中央区
公認会計士

大串 卓矢 

公認会計士岡田育大事務所

東京都港区
公認会計士

岡田 育大 

監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人省エネルギーセンターの令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度における会計及び業務について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

1 監査方法の概要


- (1) 会計監査について、決算関係書類及び会計監査人が作成した会計監査報告を精査し、関係書類の正確性を確認しました。
- (2) 業務監査について、理事会その他の会議への出席や関係書類の閲覧等によって、業務執行の妥当性を確認しました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録は、当財団の収支及び財産の状況を正確に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、当財団の事業の状況を正確に示しているものと認めます。

令和8年5月26日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事 長谷川裕夫 

監事 安丸 徹 

監査報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

公益目的支出計画の実施状況について、関係書類の閲覧や事業報告の聴取等によって確認しました。その結果、公益目的支出計画実施報告書は、当財団の公益目的支出計画の実施状況を正確に示しているものと認めます。

令和8年5月26日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事

長谷川 裕天



監事

安丸 徹

